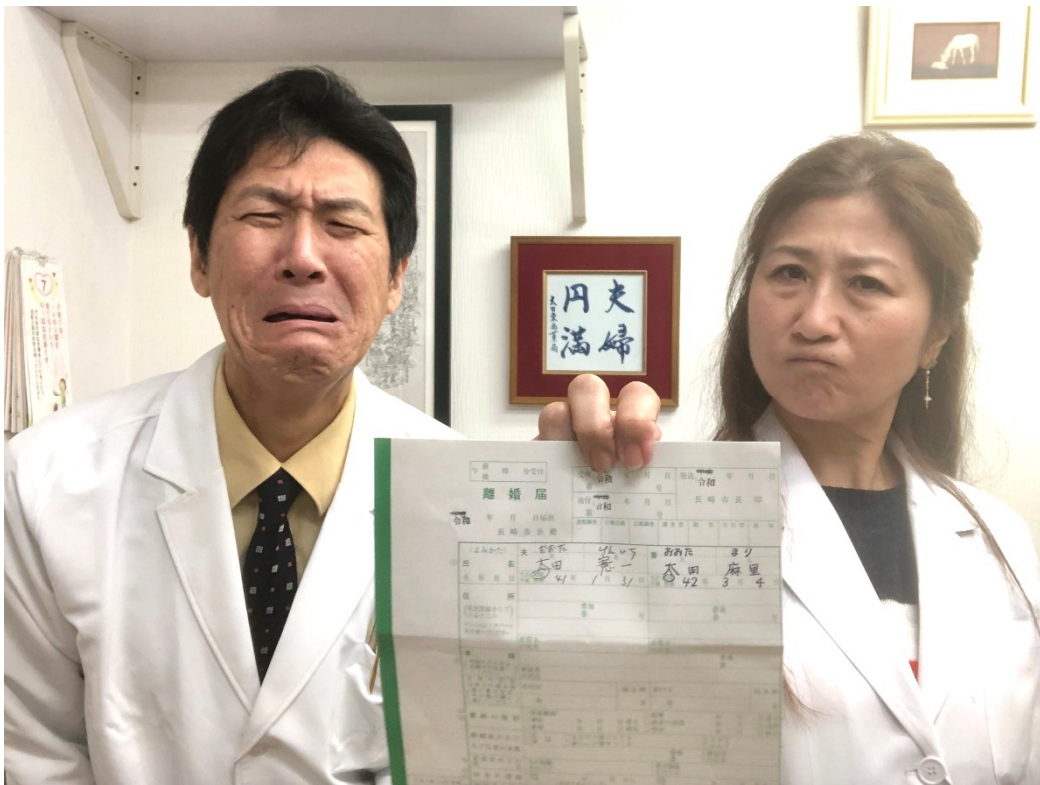


太田東西かわら版

2020.2

「いざ、さらば！」



ま、ま、麻里さ~~~~ん

そんな怖い顔して、いったいどうしたんですか・・・？

あれっ、持っている紙、「離婚届」じゃないですか！！(Ⅲ)

しかも、署名までしているじゃないの~~~~

太田先生、麻里さんに離婚届突き付けられて、それで泣いているんだ！
太田東西薬局、いったいこの先、どうなるんですか・・・？？？

私たち夫婦は、結婚して今年で
「30年」になります~~~~す\(^o^)/

一方、薬局は今年で23年。
結婚生活のほとんど、太田東西薬局とともに歩んできたこととなります。

3年前には薬局の20周年記念祭、去年は(株)マーヤの10周年記念祭を
催して、たくさんのお客様にご出席・お祝いしていただきました。
改めて感謝申し上げます m(__)m

しかし私は、薬局やマーヤを末永く存続させるために仕事をしているのでは
ありません。「創業100年の 会社」。それは確かに100年も存続して
称賛される立派なことだと思いますが、私個人的には、そうした肩書きでは
判断せずに、「今、その会社の人たちがどんな志を持って営んでいるか？」
それで判断します。

夫の太田憲一と妻の太田麻里が夫婦円満で薬局を営んでいる理由は・・・
世間の常識に沿って、周りから好印象を得るためではありません。
薬局をご利用いただいているお客様を

「今以上に幸せにしてあげたい」

そう心から思っているからです。

「お客様を心身ともに健康に、そしてご家族も円満に導きたい！」
そのモチベーションが失せた時、薬局に自らピリオドを打つ覚悟です。
巨人の長嶋さんが引退の時に表明した「我が巨人軍は永遠に不滅です！」
それに習って「我が太田東西薬局は～」なんて、全く思いません(笑)

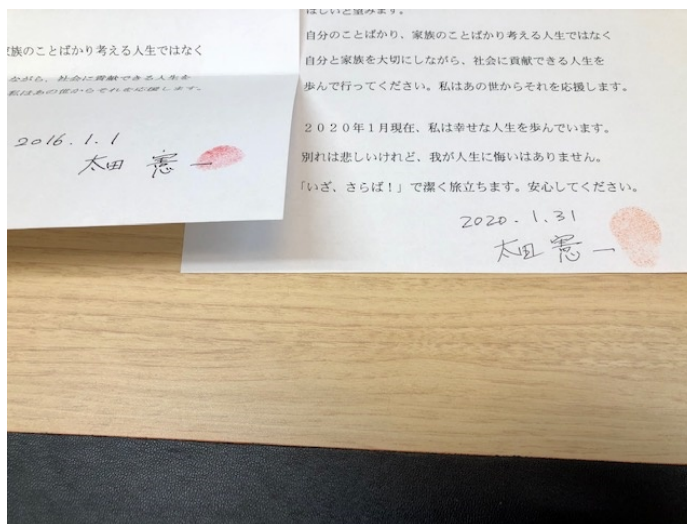
そして、『夫婦関係』も同じ。夫婦の継続にこそ価値があるとは思いません。
夫が妻の心身の健康を害している。夫婦がいっしょに過ごしていくことに
何の喜びもない。楽しみではなく「憎しみだけの関係」と感じたら・・・

私たち夫婦は、きっぱりと継続を止める。つまり、離婚します！
お互いの幸せのために。

夫や妻の愚痴・不平不満を言いながら夫婦生活を続けて余生を過ごす。
こんな「不健康」なことはありません。
どんなに高価な薬を処方しても、「不健康な環境」で生きている人の病気は
なかなか治らないと経験しています。

さて、1月31日は私の54歳の誕生日でした～ \ (^o^)/
ハーフマラソンも完走できる気力体力。おかげさまで薬局も順調。
「老いなんて自分に全く関係ない！ まだまだこれからだ～！！」
と、ノリノリの太田憲一だと思われがちですが・・・

誕生日の朝、「遺言書」をしたためました。



50歳になった2016年。初めて遺書を書きました。
それから4年経った2020年。
令和の元号に改まったこともあり、“更新”することにしました。

延命治療や葬儀の意向など4年前と変わりませんが、少し書き足すことに。
「2020年1月現在、私は幸せな人生を歩んでいます。
別れは悲しいけれど、我が人生に悔いはありません。
いざ、さらば！で潔く旅立ちます。安心して下さい」
と、付け足しました(*´ `*)

妻にも読んでもらいました。



遺言書と記念撮影もしました(笑)



もしお客様の病気がなかなか治らないと困っているなら、
あるいは、なかなか生きている喜びを実感できないなら・・・

厳しいことを申し上げますが

「いさ、さらば！」の覚悟を持って生きていないからかもしれません。

真剣に本気で

「病気を治したい！健康になりたい！幸せになりたい！」思っていないのです。
納得したくないでしょうが・・・(^.^)

病気になった時、夫婦喧嘩になった時、真剣に本気で生きていない人は
「よりによってなんで自分だけがこんな病気に・・・？」とか
「夫や子どものせいで、いつもイライラさせられる！」とか
他人のせいにして、被害者意識思考で生活しています。

「真剣に本気で生きる」とは

仕事や家事育児を真面目にこなすことではありません。

自分の人生の終わり（死）を前提にして、**「自分がどう生きていきたいか？」**

「自分はどうしたいのか？」主体的に生きるということです。

自分も家族も世の中も移り変わっていく。すべては「有限」「時間限定」。
その事実を忘れる、目を背けているから、真剣に本気になれないのです。

老後の生活の不安心配から今を楽しめない人たちもいます。
お金や健康の不安があるなら、「いざ、さらば！」の覚悟を日々持って生きて
みてください。将来が不安なら、「余命1日」と思って生活してみてください。

本来、健康長寿を提供する太田東西薬局が、「いさ、さらば！」の覚悟を持って」というのは不謹慎かもしれませんが、でも、不老不死の薬はないのです。
学校同様、人生にも必ず卒業がある以上、卒業までの学校生活（人生）を
いかに真剣に本気で過ごすか？ 卒業時（臨終時）の充実感や満足感はその意識次第でしょう。

離婚や死別は誰でも避けたい。
しかし、それを「他人事」だと思っているから、自分や家族の問題に対して
中途半端になってしまうのです。

「いざ、さらば！」の覚悟を持って
有終の美を飾りましょう。(^^) /

